

新しいモビリティサービスの実現に向けて ～日本版MaaSを利用者目線で検証する～

日時: 2020年2月21日(金)13:00～17:00

会場: 東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

主催: 東京大学公共政策大学院

共催: 一般財団法人運輸総合研究所、一般財団法人日本みち研究所

事前登録制
入場無料

13:00-13:10 **開会挨拶**

高原 明生 東京大学公共政策大学院院長

挨拶

宿利 正史 東京大学公共政策大学院客員教授、
一般財団法人運輸総合研究所会長



13:10-14:00 **基調講演1 『日本版MaaSの推進に向けて』**

瓦林 康人 国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官

基調講演2 『人・地域の幸せとMaaS・新しいモビリティサービス』

石田 東生 筑波大学特命教授、
一般財団法人日本みち研究所理事長

14:00-15:25 **講演1 『MONET Technologiesの取組みとMaaSに関する課題について』**

宮岡 冴子 MONET Technologies株式会社政策渉外部長

講演2 『MaaSアプリEMotと共通データ基盤MaaS Japanが実現できる世界』

西村 潤也 小田急電鉄株式会社経営戦略部課長、
次世代モビリティチーム統括リーダー

講演3 『都心部への新モビリティの導入と都市のリデザイン・アップデート』

重松 真理子 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会ガイドライン部会長、
三菱地所株式会社開発推進部都市計画室長

講演4 『日本的なMaaSとは。チョイソコプロジェクトで見えてきたこと』

加藤 博巳 アイシン精機株式会社イノベーションセンター部長

15:25-15:40 **休憩 15分**

15:40-16:55 **パネルディスカッション**

パネラー : 重田 裕彦 国土交通省モビリティサービス推進課長

伊藤 慎介 株式会社rimOnO 代表取締役社長、
(兼 KPMGモビリティ研究所アドバイザー)

宮岡 冴子氏、西村 潤也氏、重松 真理子氏、加藤 博巳氏

モデレーター: 石田 東生氏

16:55-17:00 **閉会挨拶**

大橋 弘 東京大学公共政策大学院副院長



瓦林 康人氏 国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官

東京大学法学部卒業。1987年運輸省(現国土交通省)入省。コロンビア大学経営大学院修士取得。OECD日本政府代表部参事官、鉄道局財務課長、観光庁国際交流推進課長、自動車局旅客課長、大臣官房会計課長、観光庁審議官、大臣官房総括審議官を歴任。2019年7月より大臣官房公共交通・物流政策審議官(現職)



石田 東生氏 筑波大学特命教授、一般財団法人日本みち研究所理事長

1951年大阪府生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学系研究科修士課程修了。フリップン大学客員教授、筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システムマネジメント専攻専攻長などを経て、現在筑波大学名誉教授・特命教授、日本大学理工学部交通システム工学科特任教授。工学博士。



宮岡 冴子氏 MONET Technologies株式会社政策渉外部長

東大大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。2005年トヨタ自動車入社、生産管理部、北米部(海外営業)、未来プロジェクト室を経て2018年MaaS事業部に異動。MONET Technologies立上げ。2019年 MONET Technologies事業開始に伴い同社に出向、政策渉外部長(現職)。



西村 潤也氏 小田急電鉄株式会社経営戦略部課長、次世代モビリティチーム統括リーダー

2003年、小田急電鉄に入社。鉄道現業を経て、運転車両部、交通企画部などに所属。その後、運輸総合研究所への派遣を経て、16年7月より経営戦略部に所属。次世代モビリティチームの統括リーダーとして、自動運転バスの実証実験やMaaSの開発に従事。



重松 眞理子氏 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会ガイドライン部会長、三菱地所株式会社開発推進部都市計画室長

都市開発制度、エリアマネジメント等、公民協調による取組を推進。近年、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)事務局として「国家戦略道路占用事業」の適用区域に認定された丸の内仲通り等における道路空間活用に携わったほか、エリア内のイノベーションエコシステムの形成促進に向けた取組、スマートシティを推進。



加藤 博巳氏 アイシン精機株式会社イノベーションセンター部長

愛知県出身。大手銀行勤務を経て1992年にアイシン精機に入社。アフターマーケット国内向け部品営業、海外向け部品営業、秘書部、海外法人副社長を経て2018年より現職。現部署では自動車産業に限定せず次世代を担う新規事業の創出を推進。



重田 裕彦氏 国土交通省モビリティサービス推進課長

京都大学法学部卒業。1998年運輸省(現国土交通省)入省。カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係大学院修士取得。自動車交通局旅客課、都市・地域整備局都市計画課、航空局首都圏空港課、在カナダ日本国大使館一等書記官、大臣官房総務課企画専門官、大臣官房人事課企画官を歴任。2019年7月より総合政策局モビリティサービス推進課長(現職)



伊藤 慎介氏 株式会社rimOnO代表取締役社長、(兼 KPMGモビリティ研究所アドバイザー)

京都大学大学院工学研究科電気工学専攻卒業。1999年4月に通商産業省(現 経済産業省)入省。自動車課、情報経済課、戦略輸出室/クールジャパン室、航空機武器宇宙産業課、(株)産業革新機構への出向を経て、2014年7月退官。同年9月に株式会社rimOnOを設立。現在、MaaSの推進などモビリティ分野のイノベーション活動に従事。2018年9月にKPMGモビリティ研究所 アドバイザー、2019年10月東京電力ホールディングスEV戦略特任顧問に就任。

◆参加登録◆

https://ppforum.jp/?action_entry=true&forum_id=521

◆お問い合わせ◆

東京大学公共政策大学院

交通・観光政策研究ユニット(TTPU)事務局 ttpu@pp.u-Tokyo.ac.jp